

## 平成25年度越谷市自治基本条例推進会議 第5回会議 ワークショップ結果【A班】

### 第1回（行政評価、審議会等への参加状況について）

- ・ 行政評価に、内部評価・外部評価をとり入れ、効率的で効果的な市政運営がなされていると言える。
- ・ 外部評価を公開ヒアリングとし、また、評価結果を市民に公表していることは評価できる。
- ・ 公開ヒアリングのお知らせを city メールで周知したことは良い。
- ・ 審議会等への参加について、門戸を広げたのは評価できる。
- ・ ホームページにのせるだけでは、市民には伝わらない。特に高齢者はホームページへアクセスできない方々もいる。分かりやすい評価制度とするよう努めるべき。
- ・ もっと市民参加できる制度もあって良いのでは。例えば、さいたま市では「市民討議」（無作為に市民をえらんで、あるテーマで議論、評価してもらう。）をやった例もある。もっと市民参加の手法を工夫し、門戸を開く必要がある。
- ・ 制度そのものや取り扱っている内容が、分かりづらい。身近な例を用いて、分かりやすい事例に参加させる。例えば、公園をつくったけれど、どうだったか。このことを市民が学ぶようにする。
- ・ ゴミの分別収集を導入した時に市が説明してまわったように、説明することはできないか。

### 第2回（危機管理について）

- ・ 自治会は機能しているのか。一方で、行政が自治会に頼り過ぎていないか。
- ・ 自治会の仕組みづくりはできているので、その仕組みの上で個人がどれだけ防災意識や危機意識を発揮できるかが課題である。
- ・ 防災訓練や防災に関する講座は増えている。
- ・ 自治基本条例に危機管理の規定があるが、条例の制定を受けて特に変化していない。
- ・ 孤老や要援護者の名簿の準備、整備が必要であるが、これには、市からの情報提供や支援も必要である。
- ・ 自治会を活性化させていくためには、参加する人とならない人との不平等感を解消する必要がある。
- ・ 自主防災組織のモデルケースを示して、広げていくのも効果的ではないか。
- ・ 市が有事の際のリーダーとなる防災士を地域ごとに育成する。

**第 3 回（財政運営について）**

- ・市財政の将来の見通しが不安
- ・情報公開を行う際には、一般企業会計にそった財務諸表を用いての公開が必要である。
- ・税の使われ方についての情報公開を前面に出す必要がある。
- ・公開については必要なことは行われているが、もっと分かりやすくすべき。
- ・財政運営においては「参加」と「協働」がなされていないのでは。
- ・予算の編成過程をホームページで公表していることは良いことだ（平成 23 年当初予算から新規）。

**第 4 回（市民への情報提供、市民の市政への参加及び意見公募手続について）**

- ・広報の全戸配布体制をつくる
- ・市民ガイドブックについて、広告扱いとの区別がしにくい。
- ・シティメールの採用は評価できる。
- ・ツイッターの内容が上手くない。
- ・ホームページが良くなっている。知りたい情報がある。
- ・市の情報（データ）を公開して、二次利用を認める。（津波データ、消火栓）
- ・財務資料の公開を、見る側にとって分かりやすいものにして公開する。
- ・情報提供において、詳しい情報を知りたい人が情報を得られるような工夫も必要。
- ・審議会等の会議録が公開されている。
- ・市民からの意見が公開されるようにしたい。
- ・市庁舎新築発表について、市民への周知が遅かった。情報共有の原則をはたしていたのか。

**第 5 回（地域コミュニティ・市民活動団体との協働と活動への支援について）**

- ・市民活動支援センターの利用度が低いので、もっと活用する。貸室の手続きが手間である。
- ・運営協議会がつくられていない。
- ・自治会活動の活性化が必要。
- ・自治会の加入率の低下が問題になっている。
- ・コミ協が定着しているが、自治会とうまくいっているところとそうでないところがある。
- ・市民参加のすそ野を広げるために、自治会、コミ協、NPO がツールにならなくてはならないが、弱い。そのための市と市民の役割は。
- ・市民参加しやすくなるための場所を提供してほしい。

- ・ 自治会の集会所は自治会加入者しか使えない。運営（利用料の徴収）で解決できるのでは。
- ・ 若い人に参加してもらいたい。これくらいだったらいいのではと思ってもらう提案をする。